

令和7年度洪水対応演習において、関係機関との情報伝達を再確認!!

■ 目的

大雨が心配される出水期を迎えるにあたり、大雨による洪水、土石流及び高波による災害を想定し、関係機関と連携して出水対応を行えるように演習を行うもの。

演習では、災害発生時において地域住民の生命と安全を確保するため、各機関との情報伝達について確認するとともに、被害を最小限とするための対策や被災個所の復旧までの流れを確認した。

< 演習の主な流れ >

- ・ 10:00 【非常体制発令】黒部川の愛本流量観測所において、氾濫危険流量（3,800m³/s）を超えるおそれがあるため、黒部河川事務所は非常体制を発令。北陸地方整備局災害対策本部も非常体制を発令。
- ・ 11:10 【左岸8.8k決壊】愛本の左岸8.8kにおいて、CCTVで洗掘による決壊を確認。ホットラインによる情報伝達を行うとともに災害対策本部、黒部河川事務所支部、黒部市によるWEB会議による情報共有を開始。
- ・ 13:30 【被災現場中継】Ku-SAT、スマートフォン等を駆使し、応急復旧前の決壊現場から被災状況について事務所職員がレポートを実施。災害対策本部から現地職員へのやりとりなどもあわせて実施。その情報は黒部市へも共有した。

